

第9期計画における高齢者の自立支援と重度化防止の取組 自己評価及び分析結果（令和6年度実績）

① 高齢者の自立支援と重度化防止の取組

（計画書P57）

【計画記載内容】

区分	取組内容		目標			実績 （上段：数値、下段：達成状況）		
			R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)
一般介護予防事業の推進	高齢者の運動機能の向上を図るため「心身活性化教室」を開催するとともに、通所型介護予防事業を推進します。	「心身活性化教室」参加人数（人）	120	120	120	231 ◎		
		通所型介護予防事業参加人数（人）	120	120	120	90 △		
	高齢者が低栄養状態になるのを防ぐため、栄養改善事業を推進します。	栄養改善事業参加人数（人）	50	50	50	51 ◎		
		口腔機能向上事業参加人数（人）	100	100	100	231 ◎		
包括的なケアマネジメントの推進	ケアマネジャーの質向上やケアプラン作成のスキルアップを支援するため、主任ケアマネジャーによるケアプラン作成技術の指導等日常的な個別指導を行います。	ケアプラン作成技術の指導回数（回）	10	10	10	5 ×		
		ケアプラン作成研修の実施回数（回）	1	1	1	0 ×		
		「ケアマネ連絡会」開催回数（回）	3	3	3	2 ×		
	個別事例を通じた多職種協働による利用者支援を目的として「地域ケア会議」を開催します。	「地域ケア会議」開催回数（回）	4	4	4	3 △		
		個別ケース検討件数（件）	20	22	24	3 ×		

（達成状況：100%以上◎・70～99%△・69%以下×

【進捗管理による分析内容】

現状と課題	当町の総人口は減少傾向が続いている反面、高齢化率は伸び続けています。 後期高齢者の占める割合や要介護認定率も増加傾向にあることから、被保険者数と要介護認定者数の反比例を防ぎ、高齢者がいつまでも元気で自立した生活を送れるよう、介護予防事業の推進による自立支援・重度化防止の取組強化が必要となっています。 さらには、サービス利用者の個別事例を通じた多職種協働による利用者支援を行うなど、包括的なケアマネジメントの推進を図る必要があります。
-------	--

【実績／課題と対応策】

区分	一般介護予防事業の推進	取組内容	心身活性化教室
実績	令和6年度:2カ所13回(元気はつらつ12回上台4回)231人		
課題と対応策	・ 集団活動へのアプローチは十分に行えたが参加者個人への関わりが不十分である。 ・ 参加者のフレイル状況を確認し状態が悪い方を抽出して個別へのアプローチ（必要時保健相談や栄養相談の実施）を強化していく。		

区分	一般介護予防事業の推進	取組内容	通所型介護予防事業
実績	令和6年度:90人		
課題と対応策	・ 町内で利用できる事業所が3カ所あるうち、2カ所のみでの稼働となっており、潜在事業所を稼働させるためにも利用者を掘り起こしを行い、介護予防支援を進めていきたい。		

区分	一般介護予防事業の推進	取組内容	栄養改善事業
実績	令和6年度:4回(9,10,11,12月)51人		
課題と対応策	・食生活改善推進員とともに実施し高齢者に不足しがちな栄養素を取り入れたメニューを提供している。 ・新規参加者の増加に向け開催方法なども検討するほか、参加者の栄養摂取状況をアセスメントできていないので栄養状況をチェックし、その場で指導できるような実施方法などを工夫していく。		

区分	一般介護予防事業の推進	取組内容	口腔機能向上事業
実績	令和6年度:2ヵ所16回(元気はつらつ12回上台4回)231人		
課題と対応策	・実際に機能向上しているか評価不十分。評価できるような内容のメニューを取り入れる等もしていきたい。また、口腔機能向上メニューを自宅で取り組んでもらえるよう内容の工夫等していく。		

区分	包括的なケアマネジメントの推進	取組内容	ケアプラン作成技術の指導
実績	令和6年度:5回		
課題と対応策	・今年度は、実地指導への協力として、介護保険係（保険者）と同行し、3ケースが確認。またケアプラン点検として介護保険係（保険者）と同行し、1ケース確認。技術指導については、ケアマネジメントサイクルの一連の流れに沿ってアセスメント・目標の立て方評価等の指導を行った		

区分	包括的なケアマネジメントの推進	取組内容	ケアプラン作成研修会
実績	令和6年度:0回		
課題と対応策	・今年度は開催できなかった。今後は年1回の研修会開催を目標として取り組む。		

区分	包括的なケアマネジメントの推進	取組内容	ケアマネ連絡会
実績	令和6年度:2回		
課題と対応策	・具体的なケアプラン作成の事例などを学べる場として連絡会を開催したい。		

区分	包括的なケアマネジメントの推進	取組内容	地域ケア会議
実績	令和6年度:3回		
課題と対応策	・今年度については対面3回の開催。行政と事業所及び関係機関との情報交換・ネットワークを密に連携を図りつつ、講師を招いての研修会等を企画予定。		

区分	包括的なケアマネジメントの推進	取組内容	個別ケース検討
実績	令和6年度:3件		
課題と対応策	地域のケアマネジャーからの相談内容について、虐待（疑い）の相談や認知症の対応、高齢者の引きこもり等の相談等、多岐にわたりました。今後も後方支援として、継続して相談があった際、支援していく予定。		

【計画記載内容】

事業名	取組内容		目標			実績 (上段：数値、下段：達成状況)		
			R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)
① 要介護認定の適正化	認定調査員が行う調査の特徴や傾向を把握し、認定調査員それぞれが陥りやすい誤った判断について改善指導を行い、適正な要介護認定審査がなされるよう努めます。	調査票事後点検による改善指導件数（件）	50	50	50	80 ◎		
② ケアプランの点検	居宅介護支援事業所や施設等の介護支援専門員（ケアマネジャー）が作成するケアプランを点検し、適正なサービス提供が行えるよう指導を行っていきます。	ケアプラン点検月数（月）	84	90	96	64 △		
③ 住宅改修・福祉用具の点検	利用者の状態・環境からみた住宅改修・福祉用具の必要性を全件確認、必要により事前・事後の訪問確認を実施します。	訪問確認件数（件）	10	10	10	9 △		
④ 医療情報都の突合・縦覧点検	北海道国民健康保険団体連合会からの情報等を活用し、給付実績の縦覧点検・医療情報都の突合を実施します。	突合件数（件）	50	50	50	285 ◎		
⑤ 介護給付費通知	サービス利用者に対して、サービス利用状況の確認に活用していただけるよう、年に1回、利用したサービス種類や介護給付費の額、利用者負担額等の実績を通知します。	発行回数（回）	1	1	1	1 ◎		
⑥ 給付実績の活用	国保連合会における審査支払の結果から得られる給付実績を活用して、事業所の運営状況等を確認し、適正なサービス提供及び事業者の指導育成を図ります。また、国保連合会が提供する給付適正化システムより抽出される各種帳票を点検し、適正なサービス提供が行われるようケアプラン指導等に活用します。	活用件数（件）	14	15	16	9 ×		

(達成状況：100%以上◎・70～99%△・69%以下×)

【進捗管理による分析内容】

現状と課題	当町の被保険者数は減少傾向にあるが、高齢化率・認定率ともに増加を続けており、2040年度の推計値では2021年度から高齢化率6ポイント・要介護認定率6ポイント上昇の見込みとなっています。 サービスの利用状況も増加傾向にあり、給付費負担も増え保険料額もさらなる増加が見込まれていることから、利用者が真に必要なとするサービスを適切に提供する体制を確保する必要があります。
-------	--

【実績／課題と対応策】

事業名	① 要介護認定の適正化	取組内容	調査票事後点検による改善指導
実績	令和6年度：80件		
課題と対応策	直営・委託にかかわらず、認定調査票の提出を受けた後に事後点検を行い、項目の選択ミスや特記事項の記載例など、調査員へ直接指導し公平な調査結果となるよう努めており、今後も継続していきたい。		

区分	② ケアプランの点検	取組内容	ケアプラン点検
実績	令和6年度：64月		
課題と対応策	・9件64月分のケアプラン点検を行なった。今後は国保連介護給付費適正化システム給付実績の帳票活用により効果的なケアプラン点検を行っていきたい		

区分	③住宅改修・福祉用具の点検	取組内容	訪問確認
実績	令和6年度:9件		
課題と対応策	・申請全件は写真にて確認しているが、訪問での事前確認は住宅改修5件・福祉用具1件・福祉用具貸与では2件の確認を行った。今後も必要に応じて、事前あるいは事後の確認を行い適切な給付につなげていきたい。		

区分	④医療情報都の突合・縦覧点検	取組内容	突合
実績	令和6年度:285件		
課題と対応策	・国保分、後期分をあわせて285件の突合を行った、突合の結果、追加確認を行うケースは少ないが、今後も突合を実施していく。		

区分	⑤介護給付費通知	取組内容	発行
実績	令和6年度:1回		
課題と対応策	・11月下旬に令和5年10月提供分から令和6年9月提供分までの給付実績を記載した通知書を、対象期間に給付実績がある全ての被保険者へ送付し、利用状況を確認していただいた。送付後、数件の問い合わせがあるため、今後も年1回の送付を継続していく。		

区分	⑥給付実績の活用	取組内容	活用
実績	令和6年度:9件		
課題と対応策	・国保連からの給付実績の活用は、主にケアプラン点検対象者の抽出に活用している。今後は適正なサービス提供が行われているかの確認についても活用していきたい。		